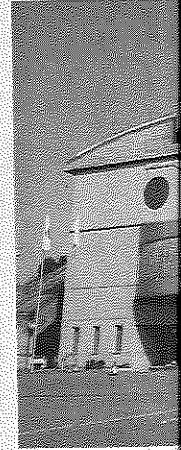




を1校に統合するなど、合に45年度までにかかる市立小中学校の再編が主更新費用97.3億円を抑え込む。23年には新設する認定こども園に、5つに9万人超だったが、足の保育所・幼稚園を一本



JR東日本横浜支社 国土交通省は「1時間あたり40分以上遮断して最大44分の遮断が起きる踏切」と定義して「開踏切(川崎市中原区)に、12月にも列車の種別を判断して遮断時間を減らす制御装置「賢い踏切」を導入する。数分程度の短縮効果を見込んでいる。

開 踏切(川崎市中原区) 国土交通省は「1時間あたり40分以上遮断して最大44分の遮断が起きる踏切」と定義して「開踏切(川崎市中原区)に、12月にも列車の種別を判断して遮断時間を減らす制御装置「賢い踏切」を導入する。数分程度の短縮効果を見込んでいる。

神奈川県内で交通弱者の移動を支援する取り組みが広がっている。車いすや介助が必要な人らが移動手段を利用しやすくするため、介護タクシーとのマッチングを支援する実証実験が始まったほか、乗り合いバスの運行も始まっている。新型コロナウイルス禍や少子高齢化による利用者の減少で路線バスなどの維持が難しくなるなか、新たな生活の足として定着を図る。

システム開発のアイネツトは18日から湘南鎌倉総合病院(神奈川県鎌倉市)で、移動が難しい患者と介護タクシー会社をマッチングさせる実証実験を始めた。利用者(病院に設置された端末で、車いすや介助が必要かどうか、体格、行き先などを入力する。インターネットのシステムでつながる介護タクシーの11社も配車の可否を入力

# 交通弱者の移動 助け合う



## 県内で取り組み

し、効率的な配車や利用者の待ち時間削減につながる。介護タクシーは、介護できる人員の不足などにより、事前予約しないと配車までに長時間かかることもある。アイネツトは「移動が困難な人が気軽に移動できるようにしたい」とし、将来はスマホ用アプリを開発して「ヘルスケアMaas(次世代移動サービス)」と

## 介護タクシーを仲介 乗り合いバス運行も

し、効率的な配車や利用者の待ち時間削減につながる。介護タクシーは、介護できる人員の不足などにより、事前予約しないと配車までに長時間かかることもある。アイネツトは「移動が困難な人が気軽に移動できるようにしたい」とし、将来はスマホ用アプリを開発して「ヘルスケアMaas(次世代移動サービス)」と

ハートフルタクシーなどはオンデマンド型の乗り合い送迎サービスを始めた(海老名市) して展開したいと考えた。は多いときで1日40件。海老名市ではハートフル「会員は現在600人だ。ルタクシー(同市)と調子が、4月から乗り合いバス「ガーデン号」の本エリアでの移動支援を模格運行を始めた。市内在住の70歳以上か、運転免許を返納した人、障害者や妊婦らが事前登録すれば無料で利用できる。アイネツトが開発した乗り合いシステム「チョイソコ」を導入し、事前に登録した利用者が電話予約すると、最適な運行経路、乗降の順番を決めて、利用者の自宅から海老名駅やメディアカルガーデンが運営する薬局、市役所など7カ所に送迎する。2021年10月から実証実験し、本格運行を決めた。海老名市も広報などで協力しており、利用

# 神奈川

## 宿泊割、最大9000円に拡大

横浜市は6月1日から、市内での宿泊や観光を促進する独自施策「Find Your YOKOHAMAキャンペーン」第2弾を実施する。平日の宿泊料金の割引額を最大9000円に拡大する。第1弾では平日も休日も最大7500円だった。

対象は神奈川県内のほか、埼玉・千葉・茨城・栃木・群馬・山梨・静岡の各県の居住者で、さらに拡大を検討する。観光施設や貸し切りツアーなどの体験コンテンツの入場料は

## 神宮外苑再開発 樹木保全を要請

東京都の小池百合子知事は27日の記者会見で、神宮外苑の再開発を担う三井不動産など4事業者に対して「都民の共感と参画を得ながらまちづくりを推進するよう要請した」と明らかにした。再

開発に伴う樹木伐採を巡り、都民から賛否両論の声を寄せられているため、自然環境の質の維持に努めるよう強調した。具体的には樹木の状態を調査・公表し、施設の設計を工夫することなどで保存や移植を進めることを求める。神宮外苑が国民の献金・献木で造営された歴史を踏まえて、再整備でも都民参画に取り組むこと、具体的な整備計画などを詳細に情報発信することも求めた。同事業は環境影響評価(環境アセスメント)手続きに入っており、都知事は6月上旬までに事業者に審査意見書を送付する必要がある。

横浜支局 0445-2201-25551  
川崎支局 0445-2221-7793